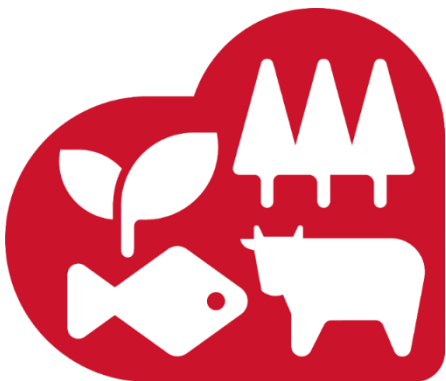
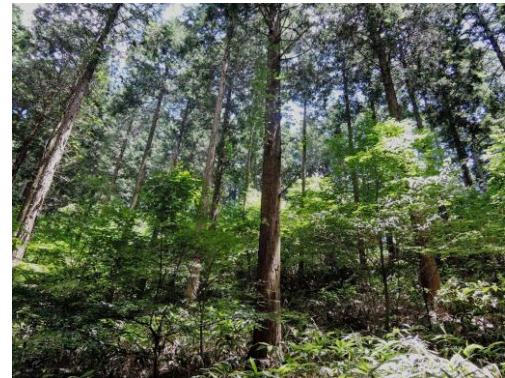


広島県の農林水産業



広島県農林水産局ロゴマーク

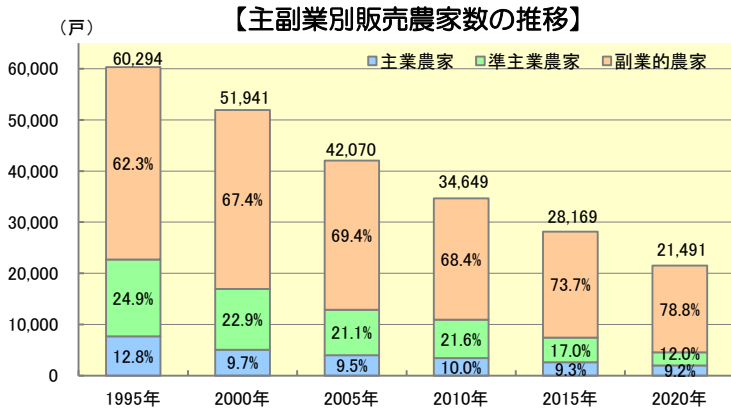


令和4(2022)年4月



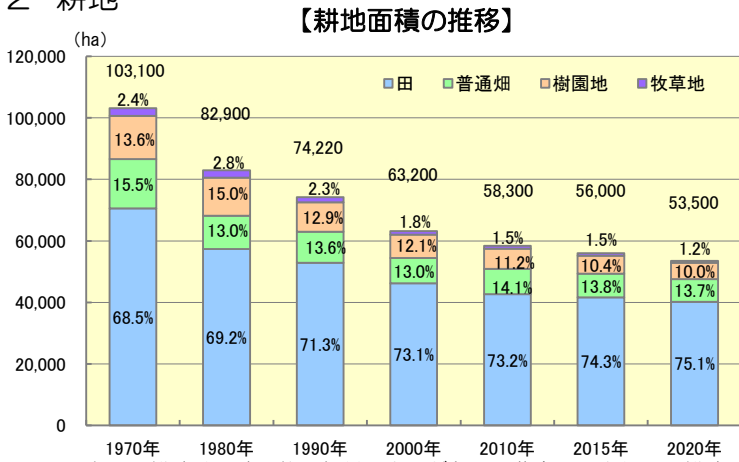
農業

1 農家



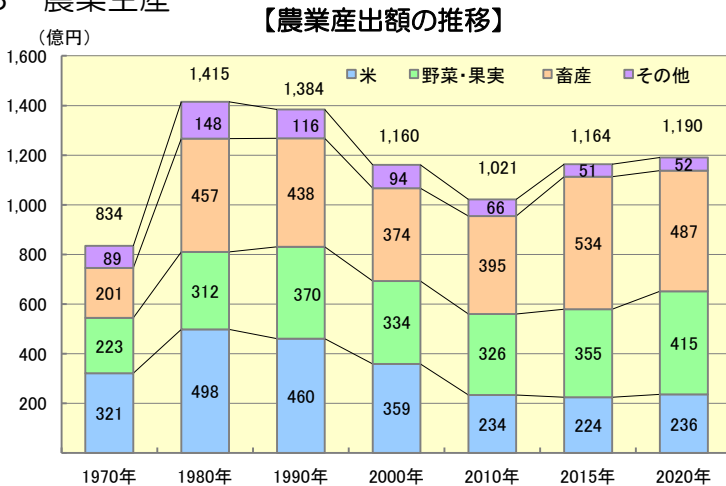
本県の販売農家は、副業的農家が約7割を占めています。
注：1995年から2015年は販売農家数、2020年は農業経営体数のうち個人経営体数の値。

2 耕地



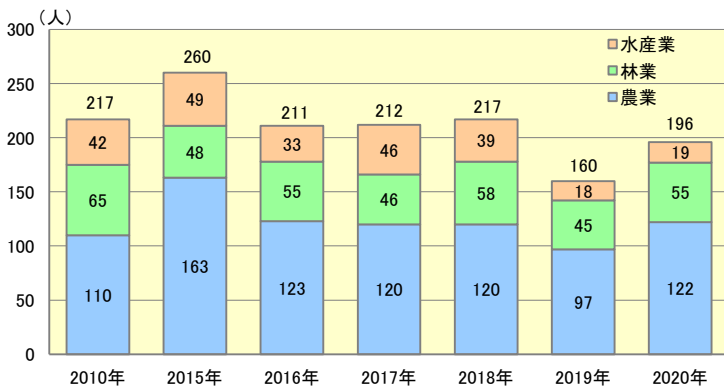
本県の耕地は、地形的に急斜面水田が多く、農家1戸当たりの耕地面積は118aと低くなっています。

3 農業生産



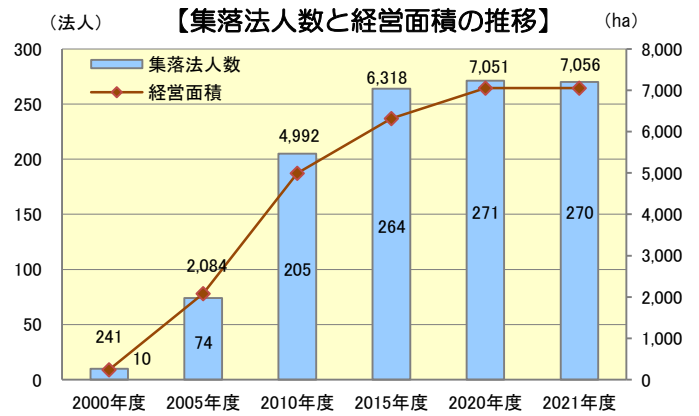
2020年の農業産出額は1,190億円となっています。

4 新規就業者数（農・林・水）



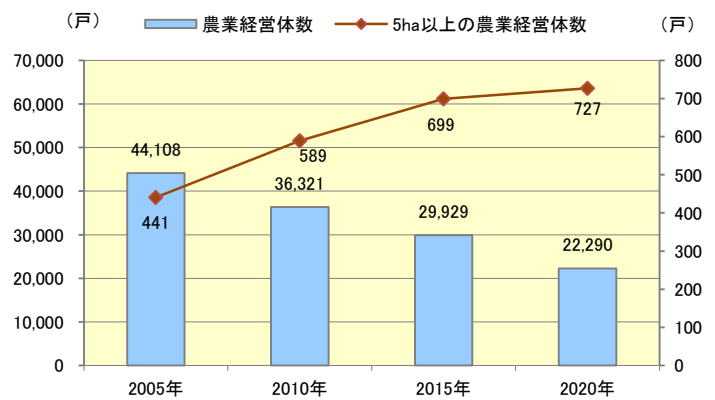
2020年の新規就業者数は各分野ともに前年に比べ増加しています。

5 取組の成果



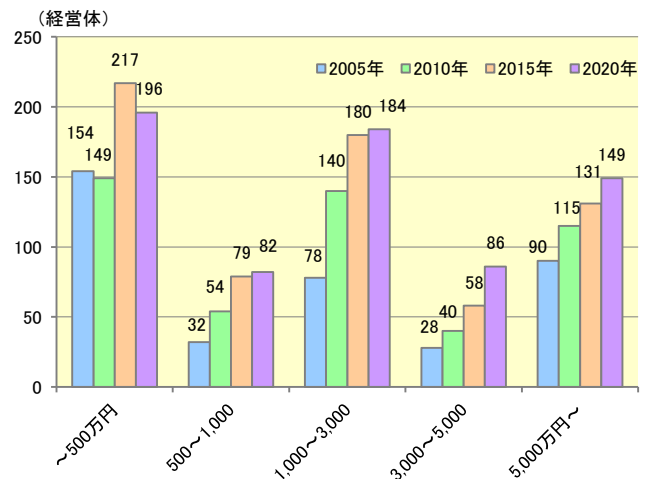
2000年度から2021年度にかけて、集落内の農地を集積した法人経営が増加し、2022年3月末現在の集落法人件数は、270法人となっています。

【農業経営体数と経営耕地面積5ha以上の経営体数】



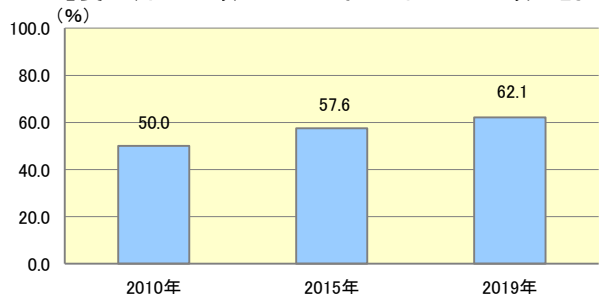
農業経営体が減少する中、5ha以上の耕地を経営する割合は増加し、着実に規模の拡大が図られています。

【法人化している農業経営体の売上高】



法人化した農業経営体は、数、売上高ともに増加しています。

【農産物生産額に占める担い手の生産額の割合】



地域の核となる経営力の高い担い手が、生産の相当部分を担う構造を目指しています。

注：農産物生産額は、農業産出額のうち、畜産を除く産出額。

農業生産

広島県では、北部高冷地から沿岸島しょ部地域に至る多様な自然条件を生かして、米、野菜、果樹、畜産を基幹とした多様な農業を展開しています。（年の記載がない数値については、2020年値。）

畜産

産出額 487億円（全国16位）

生産量

牛肉 8,318t
豚肉 4,741t
生乳 48,811t
鶏卵 140,323t **全国4位**



県内飼養戸数及び飼養頭羽数（2021年2月時点）

	飼養戸数	飼養頭(羽)数	1戸平均
乳用牛	127	8,670	68.3
肉用牛	484	25,800	53.3
豚	26	113,000	4,346
採卵鶏	49	9,989,000	203,857
ブロイラー	8	606,000	75,750

《農業産出額の上位5品目》

1位	米	236	億円
2位	鶏卵	229	億円
3位	豚	94	億円
4位	肉用牛	70	億円
5位	生乳	55	億円

米

産出額 236億円（全国24位）

生産量 112,800t

【生産量の多い品種】

コシヒカリ 22,849t
あきさかり 11,403t
あきろまん 3,773t



※農産物検査ベース

野菜

産出額 247億円（全国30位）

生産量 33,939t（県重点品目の計）（2019年）

わけぎ（2018年）
生産量 439t
全国1位



秋植えばれいしょ
生産量 1,910t
全国3位

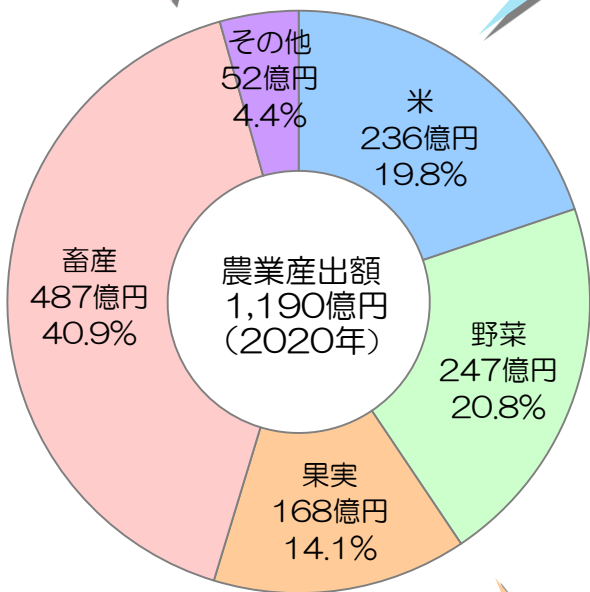


【生産量の多い野菜】

キャベツ 11,600t
だいこん 10,700t
トマト 10,200t

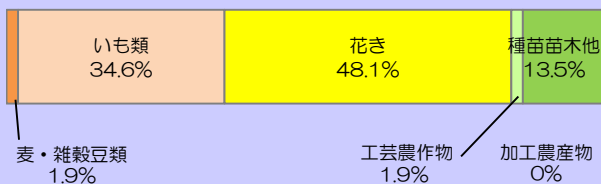
【産出額の高い野菜】

トマト 39億円
ねぎ 38億円
ほうれんそう 20億円



その他

産出額 52億円



麦・雑穀豆類 1.9%

工芸農作物 1.9%

加工農産物 0%

花き

産出額 25億円（全国38位）

出荷量 切り花類 29,900千本（2019年）
花壇用苗もの類 12,300千鉢

【出荷量の多い花き】

きく（2019年） 15,200千本
パンジー 4,010千鉢

果実

産出額 168億円（全国14位）

生産量 14,376t（県重点品目の計）（2019年）

みかん 20,800t
全国8位



レモン（2019年） 6,284t
全国1位



ネーブルオレンジ（2019年） 1,895t
全国1位



【生産量の多い果実】

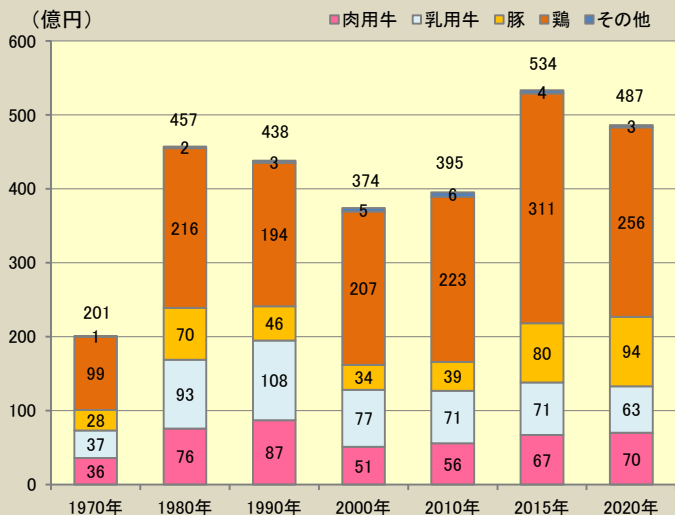
みかん 20,800t
レモン（2019年） 6,284t
はっさく（2019年） 4,829t

【産出額の高い果実】

みかん 46億円
ぶどう 34億円
レモン 16億円

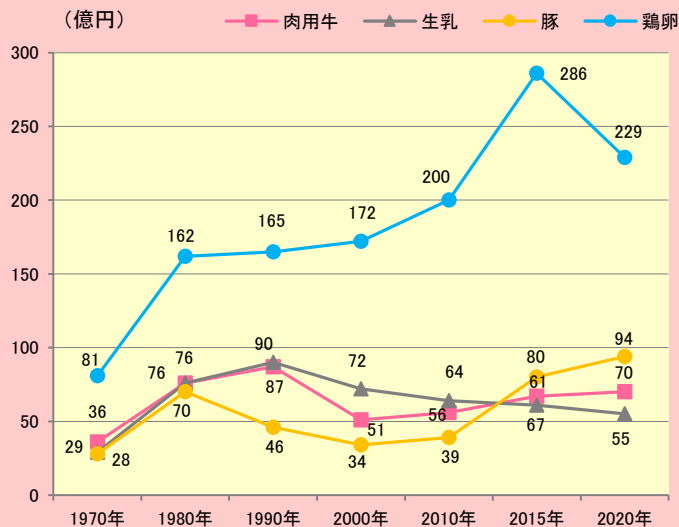
畜産業

1 農業産出額の推移（畜産部門）



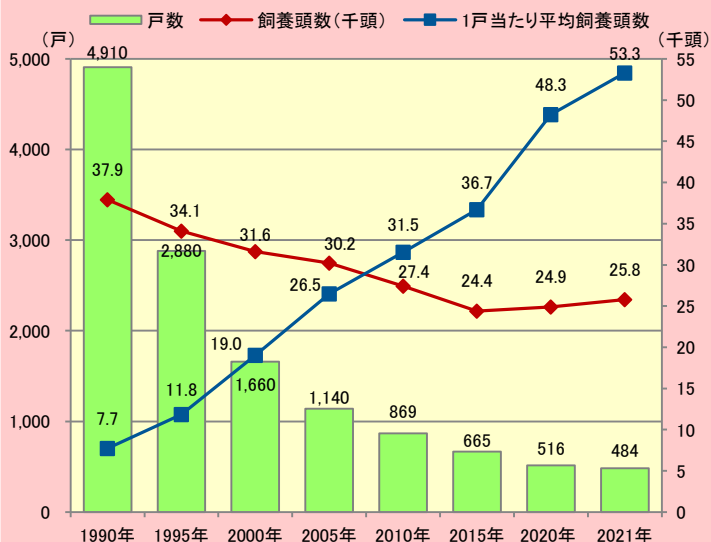
2020年の産出額のうち、乳用牛は生乳、鶏は鶏卵が、それぞれ約9割を占めています。

2 畜産品目別の農業産出額の推移



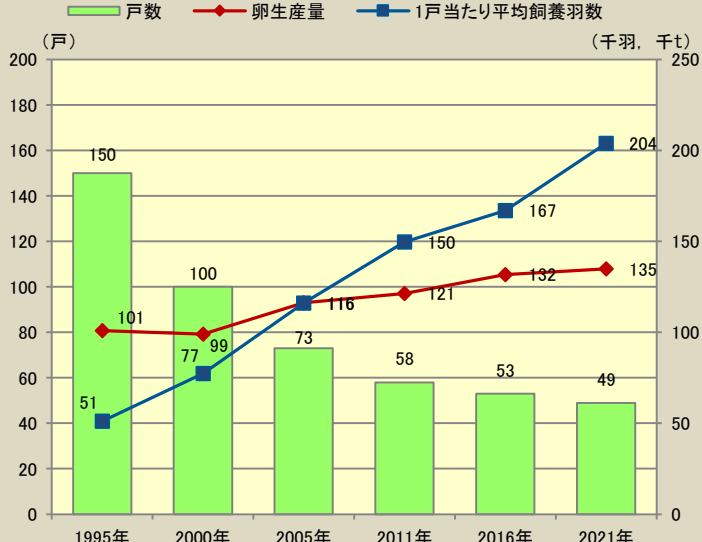
2020年の鶏卵の産出額は、茨城県、鹿児島県、千葉県に続き、全国第4位です。

3 肉用牛飼養状況の推移



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養頭数は増加しています。

4 採卵鶏飼養状況の推移



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養頭数及び卵の生産量は増加しています。

広島県農畜産物の生産状況

品目	調査時(年)	作付面積(ha)	生産量(t)	産出額(億円)
米	2020	22,600	112,800	236
麦類	〃	364	747	0
大豆	〃	430	310	1
野菜	トマト	2020	185	39
	ねぎ	〃	424	38
	ほうれんそう	〃	389	20
	アスパラガス	〃	113	11
	キャベツ	〃	442	5
わけぎ	2018	33	439	2
きく	2019	60	15,200	8

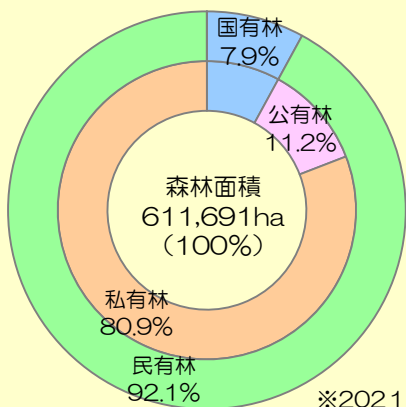
品目	調査時(年)	作付面積(ha)	生産量(t)	産出額(億円)	
果樹	レモン	2020	293	4,861	16
	いしじ	〃	268	3,071	6
	はるか	〃	35	1,322	2
	ぶどう	〃	285	2,640	34
	いちじく	〃	53	552	4
畜産	鶏卵	2020	-	140,323	229
	生乳	〃	-	48,811	55
	肉用牛	〃	-	8,318	70
	豚肉	〃	-	4,741	94

注：麦類は、小麦、六条大麦、はだか麦の合計値。

出典：農林水産省「作物統計」他。なお、きくの産出額、ぶどう以外の果樹の作付面積、生産量及び産出額は県調べ。

1 森林資源

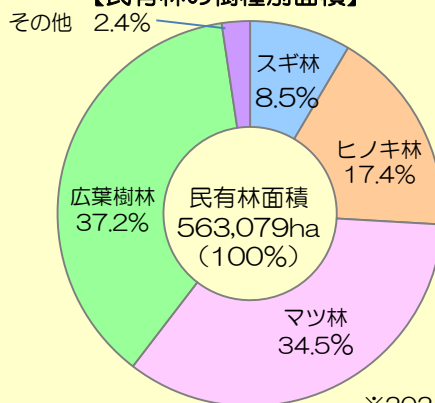
【所有形態別構成比】



※2021年4月1日現在

本県の森林面積は県土面積の72%にあたります。

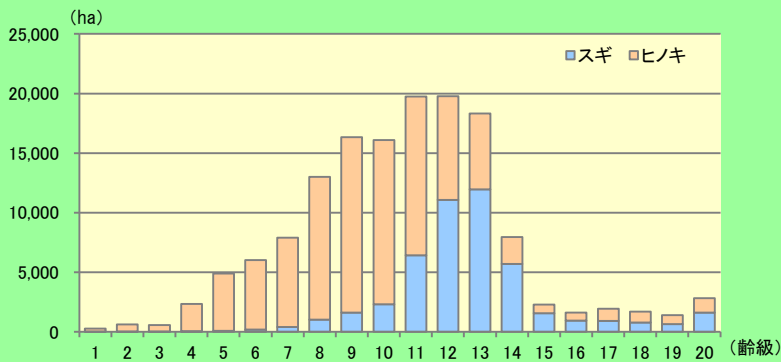
【民有林の樹種別面積】



※2021年4月1日現在

本県の民有林は、県北部地域を中心にスギ・ヒノキ等の人工林が、県中南部地域を中心に天然マツ林が広く分布しています。

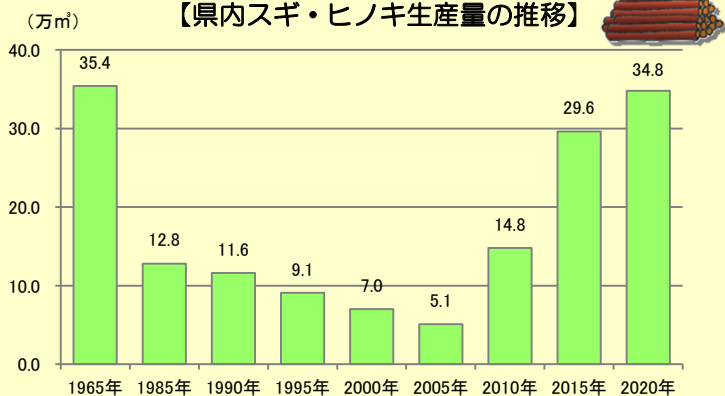
2 人工林の齢級構成 (齢級：樹木の年齢を5年刻みで区分する単位)



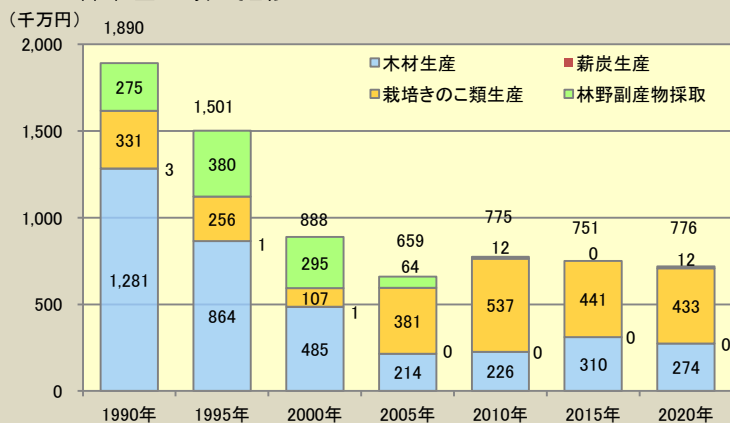
※2021年4月1日現在

3 木材生産の状況

【県内スギ・ヒノキ生産量の推移】



4 林業産出額の推移



5 県民参加の森づくり



住民団体・森林ボランティア団体・企業等が放置された里山林を手入れするなど、多様な主体の参加による森林保全活動が県内各地で行われています。

《ひろしまの森づくり事業(2007~2020)》
 人工林の間伐 13,254ha
 ボランティア活動支援 271,834人



6 森林の保全



本県の山地災害危険地区は、24,520地区であり、民有林の36%を保安林に指定し、治山事業の実施、水源林の造成など多様な森林整備を行いながら、森林の公益的機能の維持・保全に努めています。

治山施設

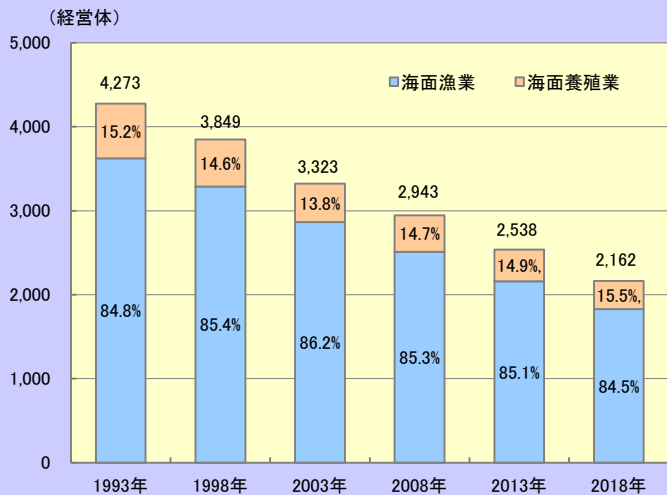


間伐された人工林

森林が放置され荒廃が進むと、「災害を防ぐ」「水を蓄える」など森林の有する公益的機能が損なわれてしまいます。
 県では、ひろしまの森づくり県民税を財源とする「ひろしまの森づくり事業」で、荒廃した森林の再生に取り組んでいます。

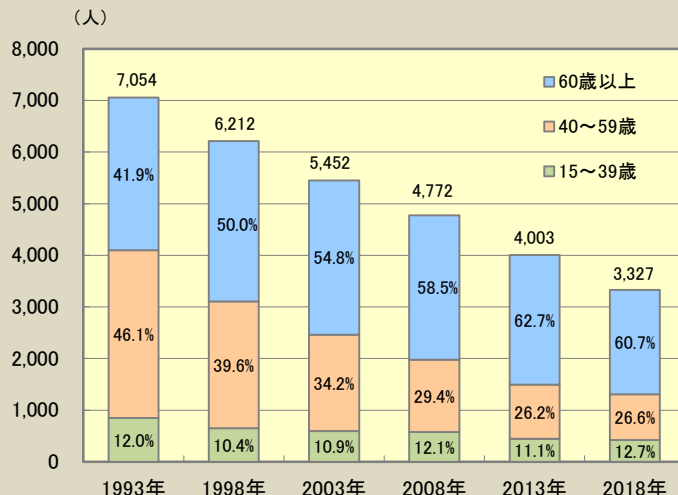
水産業

1 漁業経営体



本県の漁業経営体数は、年々減少傾向にあります。組織別の内訳は、2018年で、個人96%、団体4%となっています。

2 漁業従事者

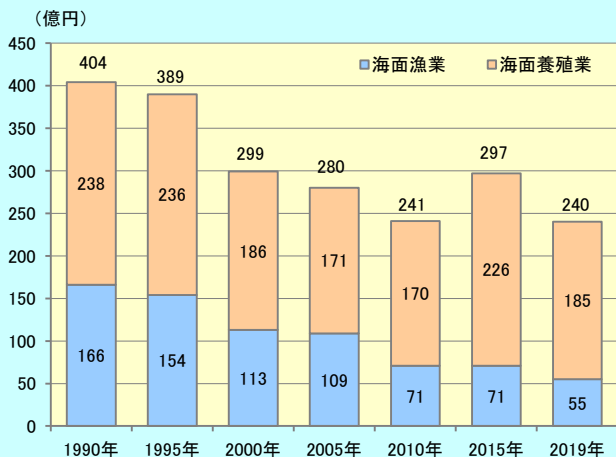


本県の漁業従事者は、年々減少傾向にあります。

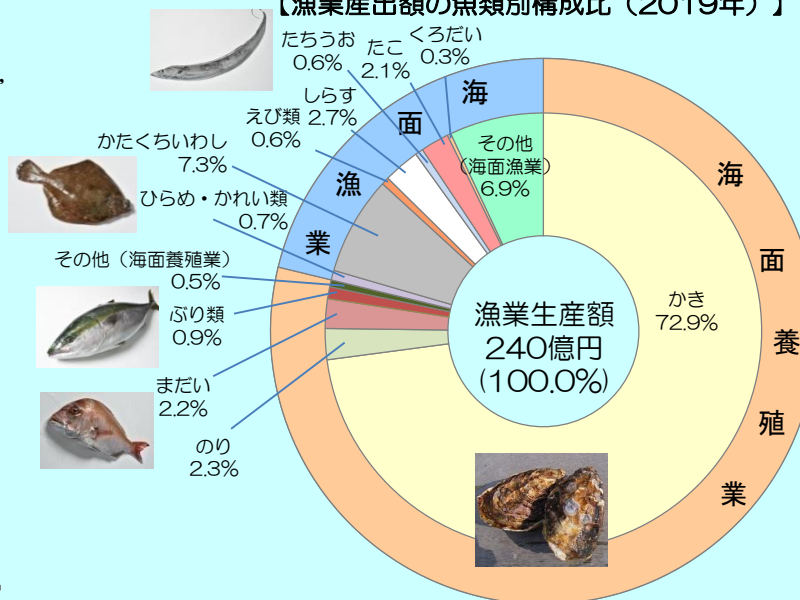
3 漁業生産

本県の漁業生産額は、かきが約7割を占めています。海面漁業では小型漁船による一本釣り、刺し網、底引き網、船びき網漁業が主に行われています。

【漁業産出額の推移】



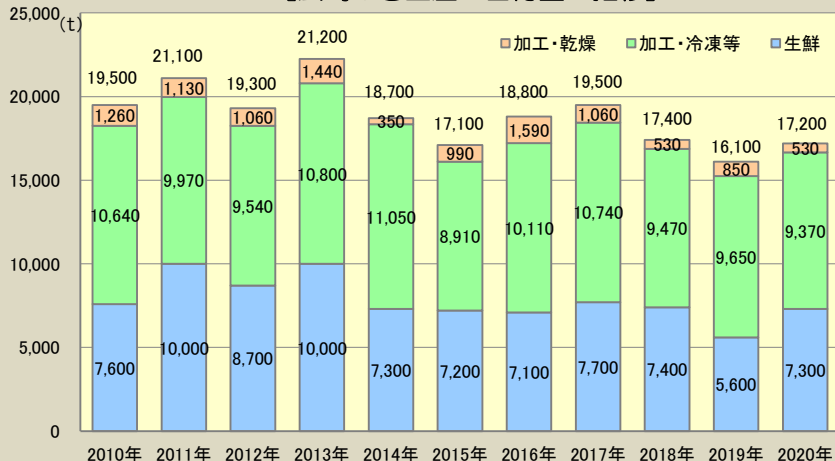
【漁業産出額の魚類別構成比（2019年）】



※まだい及びぶり類は海面漁業+海面養殖業の生産額合計

4 かきの生産量

【広島かき生産・出荷量の推移】



2020年漁期の総生産量は、17,200 t (生鮮向け7,300 t 加工向け9,370 t) で全国1位です。全国シェアの6割以上を占め、品質のよい特色のある広島かきの提供に努めます。

かき小町 (写真：右)



夏場に産卵しないため、身入りのよい大粒のかきとして出荷されます。



オニオコゼ (写真：左)

地先定着型魚種を中心に、地域ごとに特色ある水産資源を増やすとともに、本県産水産物のブランド化を促進し、消費者に安定して新鮮な水産物を供給する体制作りを構築します。

2025広島県農林水産業アクションプログラム

■ 基本理念：『生産性の高い持続可能な農林水産業の確立』

今後、広島県では人口減少や少子・高齢化が進むことが予測され、特に中山間地域においては、より厳しい環境変化が見込まれることから、中山間地域の基幹産業である農林水産業においては、経営力の高い経営体を中心となって、持続可能な生産構造を構築していくことが重要であり、あわせて集落や里山里海などを含めた環境が維持されていくことを想定

■ 策定の背景

平成30年3月に「ひろしま未来チャレンジビジョン 農林水産業アクションプログラム（第Ⅱ期）」を策定し、「担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立」を目指した取組を進めてきました。今年度で計画期間が終了することから、この間の取組の成果と課題を検証するとともに、社会情勢及び本県の農林水産業を取り巻く環境の変化等を踏まえつつ、県の次期総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の10年後の目指す姿を見据え、新たな実行計画を策定しました。

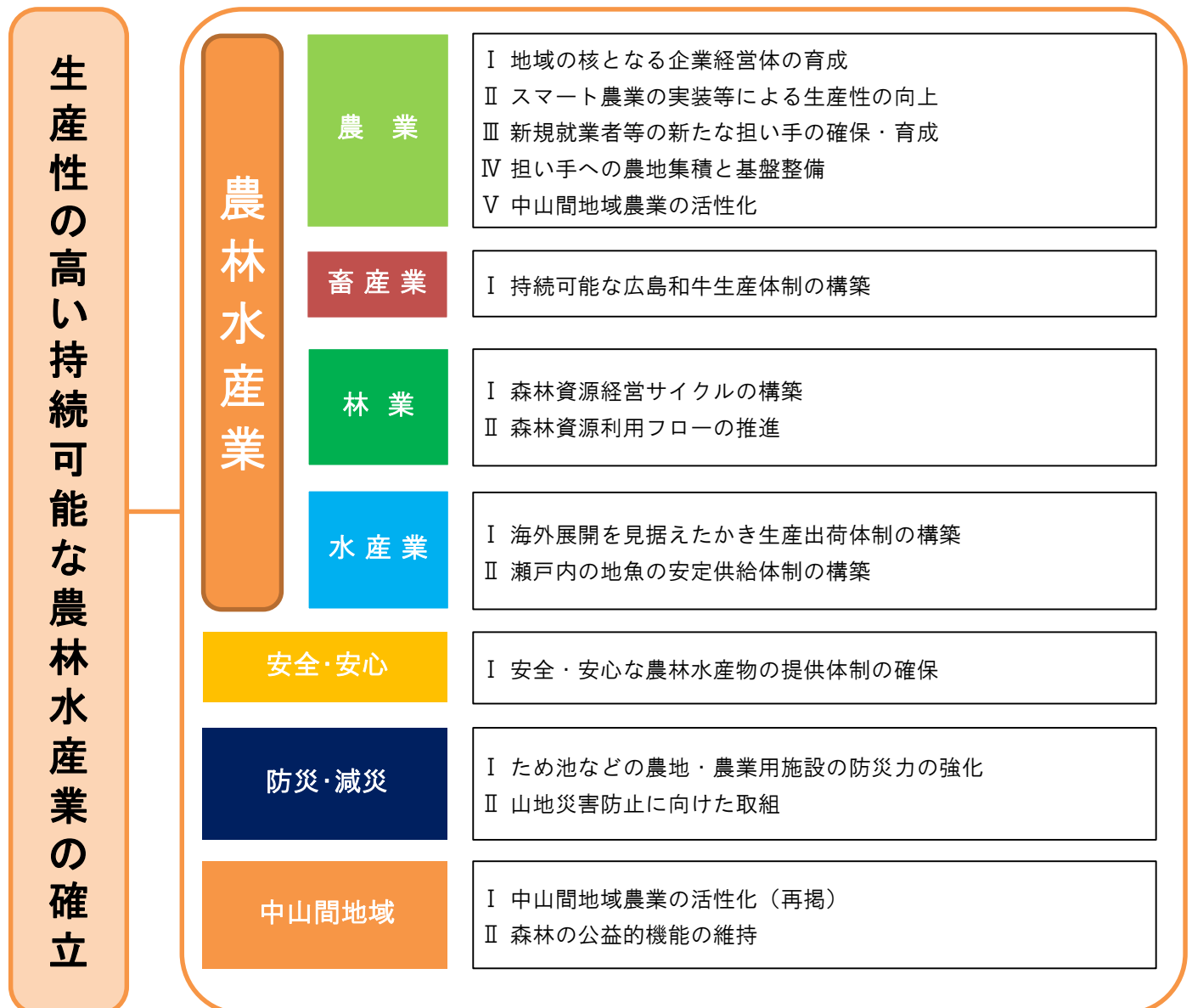
■ 計画の考え方

○このプログラムは、「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」における農林水産業等の分野別計画として位置付け、その目指す姿を実現するための具体的な取組等を定めるものです。

○分野ごとの10年後の目指す姿を実現するために、5年後の「目指す姿」と5年間の「取組の方向性」や「具体的行動計画」など、県が主体となって重点的に取り組む内容と達成すべき目標（指標）を明確化します。

■ 計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度（5年間）

■ 施策体系



「2025広島県農林水産業アクションプログラム」に掲げる農林水産業の主な目標値と達成状況

項目		2020年実績	目標	
			2025年	2030年
農業	農業生産額 ※畜産を除く	703億円	736億円	746億円
	農業生産額1千万円以上の経営体数	618経営体	655経営体	705経営体
	農業生産額1千万円以上の経営体生産額	246億円	275億円	335億円
畜産業	比婆牛を取り扱う高級飲食店の増加数	—	10店舗	30店舗
	広島和牛を肥育する企業経営体数	2経営体	5経営体	15経営体
	広島和牛を肥育する企業経営体の飼養頭数	1,800頭	2,730頭	4,850頭
林業	集約化された林業経営適地の面積	Oha	1.8万ha	4.0万ha
水産業	かき輸出量	1,400トン	2,000トン	2,500トン
	海面漁業生産額800万円以上の担い手数 ※いわし類を除く	50経営体（H30現状値）	71経営体	84経営体
	海面漁業生産額800万円以上の担い手生産額 ※いわし類を除く	7億円（H30現状値）	11億円	19億円

広島県農林水産業の主要指標

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全国	
農業					
総農家数	2020	戸	45,335	1,747,079	16
個人経営体数	2020	経営体	21,491	1,037,342	21
主業経営体数	〃	〃	1,989	230,855	33
準主業経営体数	〃	〃	2,580	142,538	22
副業的経営体数	〃	〃	16,922	663,949	14
世帯員数（個人経営体）	2020	人	61,488	3,489,686	23
（うち女性比率）	〃	%	49.7	49.4	20
（うち65歳以上比率）	〃	〃	53.4	44.6	2
農業従事者数（個人経営体）	2020	人	47,726	2,493,672	22
（うち女性比率）	〃	%	45.0	43.9	9
（うち65歳以上比率）	〃	〃	59.6	52.5	2
基幹的農業従事者（個人経営体）	2020	人	24,534	1,363,038	26
（うち女性比率）	〃	%	39.7	39.7	23
（うち65歳以上比率）	〃	〃	83.5	69.6	4
耕地面積	2021	ha	52,800	4,349,000	27
（田）	〃	〃	39,600	2,366,000	24
（畑）	〃	〃	13,100	1,983,000	30
（1経営体当たり経営耕地面積）	2020	〃	1.3	3.1	34
農作物作付延面積	2020	〃	39,600	3,991,000	32
耕地利用率	2020	%	74.0	91.3	46
荒廃農地面積	2020	ha	8,012	281,831	13
農業産出額	2020	億円	1,190	89,557	27
（米）	〃	〃	236	16,551	24
（野菜）	〃	〃	247	22,520	30
（果実）	〃	〃	168	8,741	14
（花き）	〃	〃	25	3,080	38
（畜産）	〃	〃	487	32,279	16
生産農業所得	2020	〃	398	33,621	29

資料：2020農林業センサス確報値ほか

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全国	
林業					
森林面積	2020	ha	618,092	24,770,166	10
国有林	〃	〃	47,322	7,153,338	20
民有林	〃	〃	570,770	17,616,828	6
うち保安林	2019	〃	205,995	5,312,296	4
森林蓄積総数	2017	千m3	110,405	5,241,502	19
林家数	2020	戸	35,928	690,047	1
森林組合数	2019	数	15	613	14
森林組合員数	2019	人	73,696	1,495,048	3
林業産出額	2020	千万円	719	42,864	18
（木材生産）	〃	〃	274	19,437	22
木材（素材）生産量	2020	千m3	295	19,882	20
木材（素材）需要量	2020	〃	1,606	23,550	3
外材（素材）需要量	2020	〃	1,287	3,668	1
林野火災被害面積	2019	ha	40	837	5
松くい虫被害量	2019	千m3	9	302	8
水産業					
漁業経営体数	2018	経営体	2,162	79,067	15
海面漁業（延数）	〃	〃	1,829	65,117	14
海面養殖業（延数）	〃	〃	333	13,950	14
漁業就業者数	2018	人	3,327	151,701	19
漁業生産量	2020	t	118,116	4,183,116	10
海面漁業	〃	〃	18,958	3,213,035	26
海面養殖業	〃	〃	99,158	970,081	1
かき養殖	〃	〃	95,992	159,019	1
内水面漁業	〃	〃	17	21,745	31
内水面養殖業	〃	〃	67	29,087	26
漁業生産額	2019	億円	240	13,484	17
海面漁業	〃	〃	55	8,682	31
海面養殖業	〃	〃	185	4,802	11
かき養殖	〃	〃	175	350	1

多面的な役割を持つ農林水産業・農山漁村

【本県における農業・農村の公益的機能の評価額】

【本県における森林の公益的機能の評価額】

（単位：億円/年）

洪水防止	751	田畑が降雨を一時貯留し、周辺に徐々に流したり、雨水の急激な流出を防ぐことで、洪水を防止・軽減する役割
水資源かん養	286	降雨や、灌漑によって導かれた河川水等を田畑が地下に浸透させ、蓄える役割
土壌侵食防止	45	農地で作物を栽培することにより、土壌侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	11	耕作されている水田が地下水を安定的に維持し、土砂崩壊を防止する役割
有機性廃棄物処理	1.8	農耕地が、有機性廃棄物を堆肥として還元し、廃棄物の最終処理経費を軽減する役割
気候緩和	3.4	水田が、水分の蒸発により周囲の気温を低下させ、特に夏期においては、周辺地域の気候を緩和させる役割
保健休養・やすらぎ	404	田畑は農村の景観の一部を構成し、その景観や自然が人に潤いややすらぎを与える役割
合計	1,502	

水源かん養	5,300	森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水量を平準化し、洪水や濁水を防ぎ、さらにその過程で水質を浄化する役割
土砂流出防止	9,527	森林の下層植生や落葉枝が地表の侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	2,076	森林が根茎を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防ぐ役割
保健休養	516	森林が人にやすらぎを与え、余暇を過ごす場として果たしている役割
二酸化炭素吸収	312	森林がその成長の過程で二酸化炭素を吸収している役割
化石燃料代替	49	木造住宅の建築による化石燃料代替効果
合計	17,780	

資料：広島県の評価額…農林水産部（平成14年）による推計値
注：機能によって評価手法が異なっていること、また、評価されている機能が多面的機能全体のうち一部機能に過ぎないことから、合計値は参考とします。